

受付番号：2018-1-714

課題名：日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会：本邦における卵巣癌（上皮性腫瘍）に対する妊孕性温存治療に関する実態調査

1. 研究の対象

2009年1月より2013年12月の間に、当院で15～39歳の卵巣癌（上皮性腫瘍）に対し妊孕性温存手術を受けられた方

2. 研究期間

2018年12月（倫理委員会承認後）～2020年3月

3. 研究目的

小児期および通常成人女性の谷間の世代である思春期および若年成人世代であるAYA世代（Adolescent and Young Adults）に着目し、AYA世代における卵巣癌の治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転帰等について後方視的に調査することを目的とする。

4. 研究方法

全国の日本産科婦人科学会専攻医指導施設を対象に、妊孕性温存を目的とした治療を行なった症例施設に対して症例集積を行う。なお、調査内容は下記5.の通りである。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術時年齢、手術前妊娠既往、手術前の卵巣予備能検査施行の有無、手術所見、病理検査結果、再発の有無、治療後の妊娠・分娩歴、不妊治療の有無 等

6. 外部への試料・情報の提供

調査はエクセル入力形式で行い、ディスクにてエクセル入力ファイルを研究事務局へ返信用封筒にて返送する。情報は対応表を用いて匿名化し、個人が特定できない状態で提供される。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理する。

7. 研究組織

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会（日本産科婦人科学会 <http://www.jsog.or.jp>）

研究産科予定施設は、全国の日本産科婦人科専攻医指導施設である。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学病院 婦人科

住所：仙台市青葉区星陵町 1-1

電話番号：022-717-7254

研究責任者：徳永 英樹

研究代表者：

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授 鈴木 直

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口と

なります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合